

欧州で開催される実施を前提とした建築設計競技 EUROPAN における若手建築家が公共建築に参画する仕組みについて

建築設計競技 EUROPAN 若手建築家
公共建築 仕組み

2115008 梅田 怜緒
指導教員 脇坂 圭一

1. はじめに

1- 1. 研究の背景

日本での公共建築受注は、入札方式またはプロポーザル方式が主流¹⁾であるため、若手建築家(40歳以下の建築家と定義する)が公共建築になかなか携われない現状にある。それに比べて海外では質的評価、コンペ方式が主流²⁾となっている。若手建築家が公共建築を担うには実績が求められるが、欧州には実績に関係なく参加できる実施を前提としたコンペがある。そのコンペが若手にとって公共建築を建てるための機会となっているという。

1- 2. 既往研究の到達点と本研究の位置付け

これまでに公共建築の再編成における空間的な計画に関する論文³⁾やコンペ方式を普及するために必要なことを論じた研究⁴⁾、若手建築家がコンペに参加する意義を論じた研究⁵⁾、建築設計競技 EUROPAN を取り上げ、テーマと敷地の関係性から敷地の抱える問題と国・都市を跨いだ問題解決への取り組み方とその課題の変遷を明らかにした研究⁶⁾はあるものの、実施を前提とした建築設計競技 EUROPAN の仕組みに関する研究を行っているものはない。

1- 3. 研究の目的

そこで本研究では、欧州で実施を前提として開催される「建築設計競技 EUROPAN」を分析し、若手建築家が公共建築の設計をするため機会となっている仕組みを明らかにすることを目的とした。具体的な目的は2つである。1) 実績の少ない若手建築家が公共建築に参入するための仕組みを明らかにすること。2) 都市同士の交流を活発にするための仕組みを明らかにすること。本研究の構成を以下に示す(図2)。

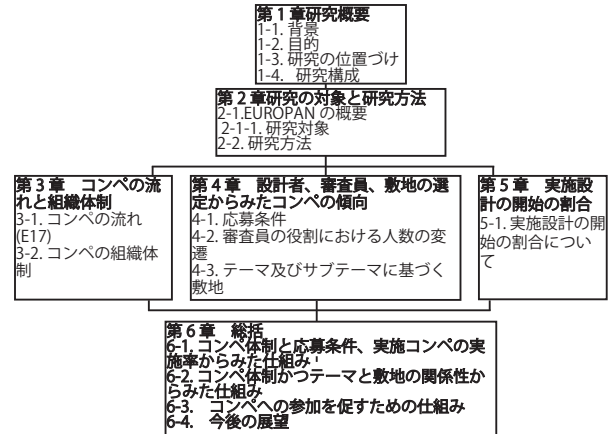


図2. 研究構成

2. 研究対象と研究方法

2- 1. 本研究の対象

若手建築家が公共建築を建てる機会となっている仕組みを明らかにするために、本研究では欧州で開催される実施を前提としたコンペを対象とする。EUROPAN は、40 歳以下の若手建築家が参加する実施コンペである。

2- 2. 本研究の方法

本研究の研究方法を以下に示す。

3 章では、コンペの流れと組織体制、4 章では、設計者、審査員、敷地の選定からコンペの傾向を分析、5 章では、実施設計の開始の割合について分析を行う。

3. コンペの流れと組織体制

3- 1. コンペの流れ (E17)

EUROPAN はこれまでに 17 回開催され、35 年間続く隔年コンペである。E17 のコンペにおけるプロセスについて整理した(表1)。10 個の項目のサイクルからコンペが行われ、そのタスクに対して何日間の日程が設けられているかが分かった。

	公共建築			
	海外		日本	
	プロポーザル方式	コンペ方式	プロポーザル方式	コンペ方式
プロセス	仙田満「知的生産者選定」2021. 8	渡辺美季子・小澤文夫・平輝「建築設計競技」	西野展哉「縮小する時代の公共施設再編計画」2021. 7	望月亮介・脇坂圭一「質の高い建築の調達に向けた設計者選定手法」
体制		Europa nのテーマ・敷地選定」2019. 6	全国営繕主管課長「官公庁施設の設計業務に関する実態調査の結果」2021. 4	としての自治体と支援組織の共同体制について」2024. 2
審査員の構成			藤野高志・小野田泰明・佃悠「行政担当者から見た地方自治体の設計者選定」2021. 10	
実施				一色駿汰・脇坂圭一「公共施設再編に向けた利用者の移行に関する研究」2023. 9

図1. 本研究の位置づけ

表 1. コンペの流れ (E17)

通し No	E17におけるプロセス	日付	期間	テーマ・敷地			審査			費用		
				本部	支部	設計者	本部	支部	設計者	本部	支部	設計者
1	インターセッションズフォーラム E16/E17 の開催 (クレルモン・オーヴェルニュ・メトロポール (フランス))	2022 11/3 11/5	3 日	フォーラム開催	支部の代表者の投票でテーマ決定		審査員メンバー承認	審査員7~9人選出・報告				
2	敷地受付	11/6 2023 3/26	140 日 143 日	テーマを公式HPで開示、敷地受付				審査員とともに敷地ブリーフを決定		2年で全体合計七十五万ユーロを支部より収集している注2)	フランス七十五万ユーロ	
3	公式 HP 登録と敷地のフォルダダウンロード開始 (登録後閲覧可)	3/27 6/30	96 日	敷地のフォルダ公開					登録		スペイン四万五千ユーロ	百ユーロ
4	応募者との敷地見学 (対面 or オンライン)	4/15 6/15	62 日	敷地見学								
5	敷地とルールに関する質疑の受付	6/2 6/16	15 日	質疑受付								
6	応募作品提出	7/30	1 日									
7	応募作品提出リストの一時的な公開	7/31 8/1	2 日				作品提出リストの公開・最終提出リスト公開	作品受付	作品提出/他者の提出リストを閲覧可		ドイツ十五万ユーロ (フォーラム旅費含む)	作品提出百ユーロ 修正五十ユーロ
8	最終提出リストの公開	8/4	1 日									
9	一次審査 各国で事前に国内審査員を選出	8月 9月	60 日				一次審査通過作品収集	一次審査				
10	都市・審査員フォーラムを開催 (ウィーン)、 国際審査員 (科学委員会、技術委員会) による 審査基準の指示	11/10 11/11	2 日				フォーラム開催 国司審査員が テーマ比較分析				(各国の経済状況により異なる注2)	
11	二次審査 国内審査員により各敷地ごと受賞者を選定	11 月	30 日					二次審査				
12	結果発表公式 HP にて公開	12/4	1 日				結果公開			報酬 Winner (1位) 一万二千ユーロ (約二百万円) Runner-up (2位) 六千ユーロ (約百万円)		
13	受賞結果発表から1 か月以内に設計者と地権者による話し合いやワークショップの場を提供 次のテーマを決めるための準備を行う	12/5 2024	320 日	本部が支部にテーマを問う。支部から挙げられたテーマを収集								
14	インターセッションズフォーラム E17/E18 を開催 (マドリッド (スペイン))	10/17 10/19	3 日	フォーラム開催	テーマの決定							

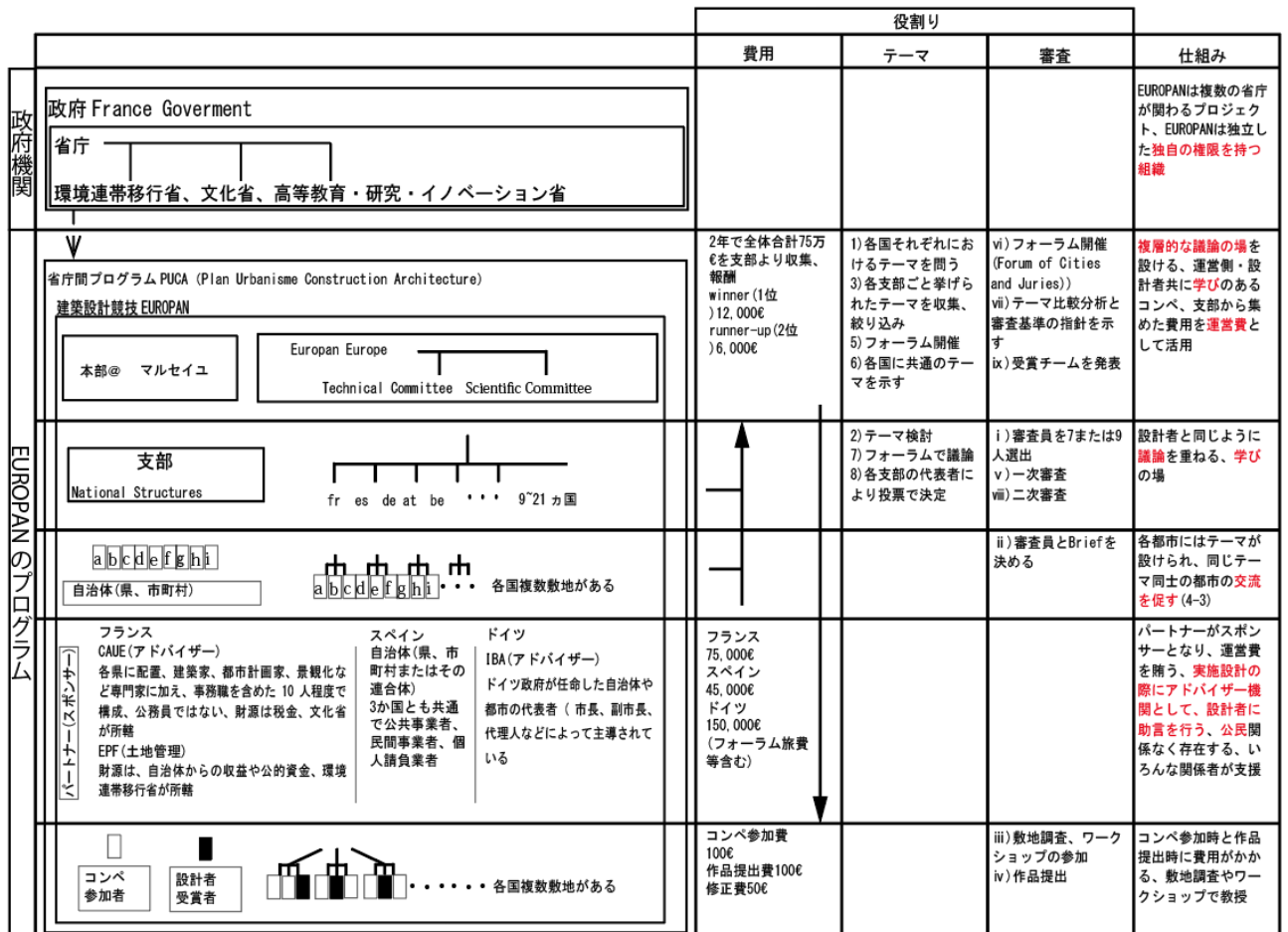


図 3. 組織体制図

[illegible]

表1より、1回の開催回に対し9~21か国でコンペが行われてきたことが読み取れる。その中でも、本研究では17回全部参加しているかつ、本部へアンケート調査を行った際に情報を得ることができたフランス、スペイン、ドイツを調査対象とした。図3より複層的なプロセスを行っていること、課題解決、情報共有など新たなネットワークをつくる場を提供していることが分かった。EUROPANは政府からの支援を受けておらず、独立した組織であることが分かった。また、パートナーの払う費用は毎回変わらないということからパートナーが多いほど一組の負担が減る。

表 4. 本部メンバーの職歴

European europe					
	Architect	Landscape	Urbanist	Engineer	その他
男性	European president, Director ETSAM, Polytechnic University of Madrid				○
男性	○	European general secretary, architect, teacher			
女性	publications, implementation processes, association, archives, human resources				○
女性	website, communication, events				○
Scientific Committee					
男性	Ph.D in architecture, urban planner		○	professor - Madrid (ES)	
女性	○	architect, Art/Engineering, teacher - Graz (AT)			
女性	Ph.D in architecture	○	landscape architect, LANDLAB - Barcelona (ES)		
男性	Ph.D in architecture, urbanist, Associate		○	Professor, AA & U - Cyprus (CY)	
男性	○	architect, StudioVlayStreeruwitz, teacher - Wien (AT)			
女性	psychosociologist, Ph.D. in philosophy, scholar, professor - Paris (FR)				○
Technical Committee					
女性	○	architect, Ph.D in architecture, professor - Paris (FR)			
男性	○	architect, urban planner, Gutiérrez-delaFuente Arquitectos - Madrid (ES)			
男性	○	architect, DOCEXDOCE Architecture Competition founder - Barcelona (ES)			
男性	○	architect, Ph.D candidate in architecture and teacher, performer at P.E.R.F.O.R.M. - Paris (FR)			
計 (人)	7	1	2	0	4

表 5. 応募条件

1.職業	少なくとも1人、大学を卒業した建築家がチームにいること。 :同じまたは関連する分野の1人以上の専門家
2.資格	建築家・都市計画課・ランドスケープアーキテクト・エンジニア・アーティスト または社会学・地理学・生物学・環境学・生態学 または各分野で学士号または同等の学位を持つ1人以上の学生。
3.年齢	すべての応募者は40歳以下。

表6より、E12からClientとPersonalitiesの役割がなくなったことが分かる。そして、その分Architectの人数が増えていることが分かった。審

	Architect (人)			Client (人)			Personalities (人)			Public Figure (人)			Substitutes (人)		
	建築家			クライアント			記者			役人			建築家のサブ		
国	FR	ES	DE	FR	ES	DE	FR	ES	DE	FR	ES	DE	FR	ES	DE
E8	4	7	5	2	1	1	2	2	2	1	2	1	2	1	6
E9	4	4	5	2	1	1	2	3	2	1	1	1	2	1	4
E10	4	5	7	2	2	1	2	1	2	1	1	1	2	0	4
E11	4	5	5	2	2	1	2	3	2	1	1	1	2	1	2
E12	6	6	6							1	1	1	2	0	0
E13	6	6	6							1	1	1	3	0	0
E14	8	8	7							1	1	1	3	1	2
E15	6	8	8							1	1	1	2	1	2
E16	8	8	8							1	1	1	2	1	1
E17	8		8							1	1	1	2	0	2

表 7. テーマ及びサブテーマに基づく敷地 (E17)

E17(23-24)				
Theme	LIVING CITIES-- 2	France	España	Deutschland
Subtitle	① Let the Birds Sing!	① Grenoble ① Guerande ① LePalais ① Marseille ① Normandie	① Barcelona ① Olive ① Nalon Estuary ① Torrelavega	① Ingolstadt
	② Imagine a Second Life!	② Fleurance ② Nantes ② Rennes ② Reims ② Normandie	② Elbar ② Madrid ② Munchen ② Regensburg	② Bad Lobenstein ② Leipzig ② Munchen ② Regensburg
	③ Think Tabula Non-Rasa!		③ Evisee ③ El Part de Liobregat	③ Borkum ③ Kassel ③ Berlin
	各国の都市の合計(ヶ)	10	8	8

図 5 に実施率を示した。

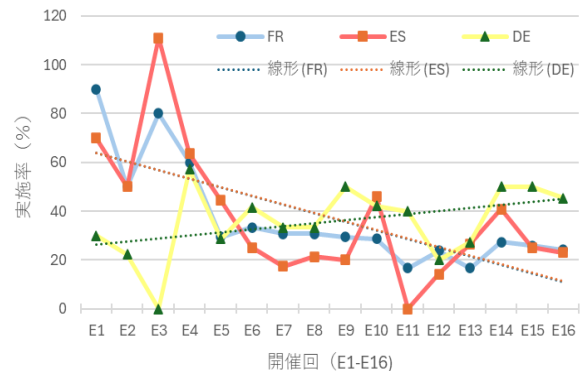


図 4. 実施設計の開始の実施率 (E1~16.FR.ES.DE)

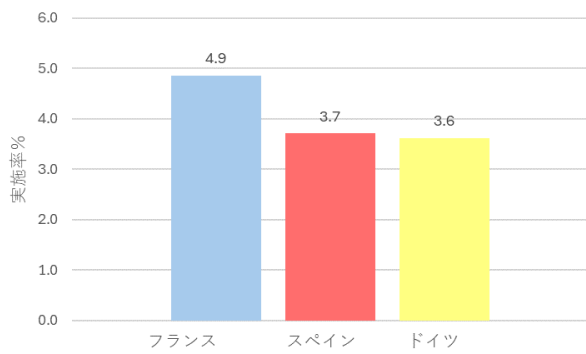


図 5. 実施率

6. 総括

6- 1. コンペ体制と応募条件、実施コンペの開始の実施率からみた仕組み

3 章では、コンペの流れと組織体制をみることによって、若手建築家を教育するような仕組みがあったことが分かった。4 章の応募条件からは、実績を求めているということが分かった。実施コンペの開始の実施率では、右肩下がりグラフになっていたが、全体としては 35%を超える実施率であったと分かった。これらから、若手が公共建築に参入できるような仕組みがあることがうかがえた。

6- 2. コンペ体制かつテーマと敷地の関係性からみた仕組み

また、3 章では、コンペ参加者、都市、国同士で交流を促すような場が多く設けられたことが分かった。テーマと敷地の関係性からは、同じ課題を国の違う都市、国の同じ都市に与えることによって、コンペだからこそ一定の人との関わりにならないような仕組みがうかがえた。

6- 3. コンペへの参加を促すための仕組み

本研究では、EUROPAN が若手にとって公共建築を建てるための機会となっているということを明らかにした。若手が公共建築に参入できるような仕組みや国・都市を跨いだ交流を活発にする仕組みは、コンペへの参加を促すような仕組みであり、つまり若手建築家のための仕組みであった。EUROPAN は、若手が公共建築を建てるための機会となっていることが分かった。

6- 4. 今後の展望

EUROPAN を分析することは日本でも若手建築家に活躍する機会を与えるための土壌となり得る可能性をもつものであった。本研究では、実際に建設された建物に関する情報の把握が一部のみしかできなかったため、今後の課題だと考える。また、機会があれば EUROPAN に参加することはどのような影響を及ぼしたのかなどを設計者に対してアンケート調査ないしはヒアリング調査をしたいと考える。

参考文献

- 1) 全国営繕主管課長会議「官公庁施設の設計業務に関する実態調査の結果 2021」、2022.5
 - 2) 西野辰哉「縮小する時代の公共施設再編計画」、建築雑誌 JABS、Vol.136、No.1751、pp.8-9、2021.7
 - 3) 一色駿汰・脇坂圭一「公共施設再編に向けた利用者の移行に関する研究」、巻号 62、pp.193-200、2024.2
 - 4) 藤野高志・小野田泰明・佃悠「ある行政担当者の関与から見た地方自治体の設計者選定とその展開」、第 27 巻・第 67 号、pp.1419-1423、2021.10
 - 5) 望月亮介・脇坂圭一「質の高い建築調達に向けた設計者選定手法としての自治体と支援組織の共同体制について」、巻号 94、pp.431-438、2024.3
 - 6) 仙田満「知的生産者選定支援機構の設立の意味と展望」、建築雑誌 JABS、Vol.136、No.1752、pp.12-13、2021.8
 - 7) 渡辺美季子・小澤丈夫・平輝「建築設計競技 European のテーマ・敷地選定の特徴と変遷」、巻号 92、pp.325-328、2019.6
 - 8) 白井裕子「フランス CAUE <建築・都市・環境について助言する組織>による景観形成」、公益社団法人日本都市計画学会都市計画論文集、Vol.52、No.2、2017.10
- ・ Europa-europe.eu 公式ホームページ (<https://www.europa-europe.eu/en/>)
 - ・ フランス政府 EUROPAN France (<https://www.culture.gouv.fr/Thematiques/architecture/Architecture-et-cadre-de-vie/Palmes-d-architecture/Palmes-etudiants-et-jeunes-professionnels/EUROPAN-France>)
 - ・ Wikipedia フランスの省 (https://fr.wikipedia.org/wiki/Minist%C3%A8re_fran%C3%A7ais)
 - ・ Wikipedia フランス文化省 ([https://fr.wikipedia.org/wiki/Minist%C3%A8re_de_la_Culture_\(France\)](https://fr.wikipedia.org/wiki/Minist%C3%A8re_de_la_Culture_(France)))
 - ・ Wikipedia 環境連帯移行省 (https://fr.wikipedia.org/wiki/Minist%C3%A8re_de_l'Environnement_et_de_la_Mobilit%C3%A9)
 - ・ Wikipedia EPF (<https://fr.wikipedia.org/wiki/EPF>)
 - ・ 公益財団法人建築教育技術普及センター (https://www.jaiec.or.jp/other_info/zaidan_information/center-index/qua_bknum/kaigai/kikansi31.html)
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 1 TO 6 NEGOTIATED PROJECTS」 2004
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 8 RESULTS」 2006
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 9 RESULTS」 2008
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 10 RESULTS」 2010
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 11 RESULTS」 2012
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 12 RESULTS」 2014
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 13 RESULTS」 2016
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 14 RESULTS」 2018
 - ・ EUROPAN 「european manifesto-guide for PROJECTS」 2019
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 15 RESULTS」 2020
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 16 RESULTS」 2022
 - ・ EUROPAN 「le concours european en france」 2022
 - ・ EUROPAN 「EUROPAN 17 RESULTS」 2024
 - ・ 小野田泰明「プレ・デザインの思想」、TOTO 建築叢書、2013 年